

個 別 注 記 表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 棚卸資産……………総平均法による原価法
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

建	物……………	定額法
その他の有形固定資産……………		定額法
 - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）……………定額法

3. 重要な引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度末までに発生していると認められる額を計上しております。
 - (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（14年）により、発生の翌事業年度より定額償却しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 消費税等の会計処理

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	537,402千円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	594,098千円
短期金銭債務	192,594千円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、賞与引当金及び職給付引当金の否認額、減価償却費限度超過額、税務上の欠損金であります。

1 株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額	960円04銭
2. 1株当たり当期純利益	125円82銭

重要な後発事象に関する注記

共通支配下の取引

2018年3月20日開催の臨時株主総会において、2018年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社親会社であるパナソニックエコソリューションズ電路株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併契約について、承認可決されました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	パナソニックエコソリューションズ電路株式会社
事業の内容	受配電設備、住宅分電盤及びブレーカ等の電路機器、電波時計等の各種時計類の製造販売

(2) 企業結合日

2018年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、パナソニックエコソリューションズ電路株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

パナソニックスイッチギアシステムズ株式会社（社名変更により、2018年4月1日よりパナソニックエコソリューションズ電路尾張株式会社から社名変更）

(5) その他取引の概要に関する事項

経営資源の効率化及びグループ経営力の結集を目的として本合併を行うものであります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

当期純損益金額

当期純利益 120,790千円